

合同

No. 477

「信じる」

福音教会総監督

ジェイ・フォーセス



使徒言行録 16章 25節～34節

最も大切な質問があります。「救われるためにはどうすべきでしょうか」(使徒言行録 16章 30節)。答えはたった一語、「信じなさい」(同 31節)です。「皆さんは信じていますか」。ヨハネによる福音書 3章 16節には「独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」と書かれています。「信じる」ことがとても大切なのです。

アメリカ人の90パーセントは神を信じています。でも彼らは正しく神を信じているのでしょうか。彼らは本当の神を信じていないのです。「信じる」という言葉は、聖書の原語では、深く深く信じるという意味です。普段わたしたちが使っているように、火星で生活できることを信じるとか、サンタクロースがいると信じるとかとは違って、もっと深い意味です。ヨハネによる福音書 1章 12節は「その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた」と言い、同じく 6章 35節に「わたしを信じる者は決して渇くことがない」、同じく 11章 25節では「わたしを信じる者は、死んでも生きる」とあります。

わたしのメンター(助言者)が教えてくれた聖書の原語で「信じる」という言葉の意味を、お話しします。

(1) 信じるとは**降伏すること**、自分を明け渡すことで、救い主であり、主である方に従うことです。この方をボスとして、自分を明け渡すことです。椅子を例にあげます。イエスを信じる前は、「わたしが」椅子に座っていると思っていました。わたしがボスであると。高校生のとき、わたしはイエスに出会いました。そのときからイエスがわたしの人生のボスになり、わたしの椅子を主イエスに明け渡し、イエスがそ

の椅子に座っておられます。皆さんは主イエスにご自身を明け渡していらっしゃいますか。

(2) その方に**信頼**することです。言い換えれば、彼を信じているということです。信仰なしに、神を喜ばせることはできません。先週わたしの姉が亡くなりましたが、彼女はイエスを信頼していました。彼女の希望はイエスにありました。彼女は今、天のみ国にいます。なぜなら彼女は信頼を主イエスに置いていたからです。

(3) **頼りに**することです。あなたはイエスに頼っていらっしゃいますか。イエスのことばを頼っていますか。わたしたちがイエスを頼りにするのなら、わたしたちはイエスに「あなたが必要です」と言います。わたしの母は23年間車椅子の生活でした。彼女の筋肉で動いているのは、心臓の鼓動と、ものを飲み込むことと、まばたきすることだけでしたけれども、母はイエスを頼りにしていました。本当の信仰者は、大変な人生を過ごしているときに、イエスを頼りにします。

(4) **しがみつ**くこと。子どもたちが小さい頃、仕事から帰ってくると、息子と娘を左右の足に乗せて、彼らはわたしにしがみついて、離れませんでした。嵐が来ると、わたしたちはイエスにしがみついている必要があります。わたしの人生でいちばんつらかったのは、息子が高校生のときで、麻薬の依存症になり、イエスから離れていったときでした。けれどもそのときにわたしにできたことは、主イエスにしがみついていることでした。

(5) **従う**こと。わたしたちはイエスのフォロワー(従う者)です。ファンではありません。イエスがしなさいとおっしゃったとおりにするのです。神の恵みは無償で与えられますが、イエスに従うときには、わたしたちはすべてをささげるのです。なぜならわたしたちはイエスのフォロワーだからです。

今日もう一度お尋ねします。「皆さんは心から主イエスを信じていますか」。すでにクリスチャンの方は、この質問は信仰の出発点を確認するものです。クリスチャンでない方には、この質問は最も大切な質問です。

「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです」(ローマの信徒への手紙 10章 9節)。わたしたちの頭と心は30センチほどしか離れていませんが、地球上で最も遠い距離があります。信じることは頭の中だけのものではありません。わたしたちは心で信じるのです。

(翻訳: 大井満教師)